

平成 23 年 2 回定例会 環境農政常任委員会

平成 23 年 7 月 1 日

佐々木委員

公明党の佐々木です。よろしく申し上げます。

最初にちょっと気になることがありますのでお伺いしたいのですが、私、先日の日曜日に太陽経済かながわ会議に参加させていただきまして、勢いとかやる気、そういうものを感じたところなんです、私自身も本当に全部信用していいのかという半信半疑、様々な議論が自由に出たということはいいとは思いますが、そこでまずそのイベントに県はどのような絡み方をしていたのか、どういう立場で行ったのかを最初に教えていただきたいと思えます。

地球温暖化対策課長

この太陽経済かながわ会議を開催するに当たりましては、神奈川県が呼び掛けをさせていただきまして、これに賛同される団体、企業に実行委員会を設けさせていただきました。この実行委員会が主体となってこの会議を開催したというところでございます。

佐々木委員

ということは皆さん仕事で行ったということによろしいですか。

地球温暖化対策課長

そのとおりでございます。

佐々木委員

休日手当あるいは残業手当が出るという立場の人はいるということですか。

地球温暖化対策課長

そのとおりでございます。

佐々木委員

県が呼び掛けてその実行委員会をやったというようなことですので、県の仕事としてやられたということですね。今、様々な御質問も出ておりましたけれども、けん引力とか制度が整っても、やはり何が一番大事かということ県民から見たら信頼だと思えるんですね。県民の信頼がなければ、これが進まないのではないかな。制度が整っていても、何だか良さそうだけれども、踏み込めないというところは知事なり県なりが県民の皆様との信頼関係をどうつくって、これが正しいんだという方向に向けていくかが一番大事だと思うんですね。

多分、そちら側に座っていらっしゃる方はみんなソーラーパネルを入れるんでしょうね。そういうことなんだと思うんですね。県庁職員の皆様は、みんな太陽光パネルをおうちに付けることが大事かもしれませんよね。知事と一緒に進んでいくのであれば、県民の信頼ということを考えていくと、職員自らそういうことを率先してやっていくということになるのかもしれないですね。その辺についてどう考えますか。

地球温暖化対策課長

かねてより神奈川県職員のいたしましても地球温暖化対策に積極的に進んでいくんだということは、私どもの立場からお話をさせてといたしますか、職員に対しても呼び掛けてございますので、そういった意味では物理的に可能で、かつ経済的にも可能であれば、是非私ども現職員の住宅にも付けてもらえれば

なというふうに考えてございます。

佐々木委員

経済的にも可能であればというか、県民が結構大半の人に付けてほしいという方向性なんでしょうから、その範を示すのは県庁職員の皆様なのかもしれないと、こんなふうに思っております。

次に、先日 28 日に一般質問をさせていただきました。節電対策についてお話をしている中で、神奈川県電力節電対策基本方針の中で LED 化の推進を打ち出しているわけですが、私は一般質問の中での結論を言えば、大量一括リース方式を導入したらいいのではないかと提案をさせていただきました。その答えがすごく、私自身は残念だったというか、幾つかの課題を考慮する必要がありますと、100本のLEDを一括導入するケースを試算しますと、一括購入では約120万円のところ、5年契約のリースは1年当たり26万円となり、負担の平準化を図ることができますが、それだけでは合計で130万円と、約10万円の負担増となるなど、経費負担の在り方について議論が必要だと、まずその話ですよ。

環境農政局の中で使用しているものの中で、リース方式によって使用しているものってどんなものがあるんですか。

地球温暖化対策課長

すべて把握しているわけではございませんけれども、コピー機などはリース方式で使用していると思われま。

佐々木委員

恐らくパソコンとか、そういうOA機器、もしかしたら建物とか土地なんかも借りているものがあるかもしれません。やはり私たちが多年度にわたるコストということをよく質問すると、県は単年度ですから、単年度ですからという答えが返ってくる人が多いわけです。現にパソコンなんかもリース方式で使っている。県がやっているのは、要するに一括購入でコストが低いものばかりかということではないと思いますが、いかがですか。

地球温暖化対策課長

確かにパソコンですとかそういったOA機器につきましては、それほど高額なものではないと存じ上げております。

佐々木委員

だから今言っているのは、要するに一括購入ではなく、負担増になっているものの中にはあるのではないかと聞いています。

地球温暖化対策課長

リース、レンタルであれば、当然ながらトータルコストでは高くなると思っております。

佐々木委員

ですからこの一般質問の知事の回答の中で、LEDの一括購入がリースに比べて約10万円の負担増となると、リースの方が高くなるというのは当たり前ですよ。なぜここでこういうことを具体的なケースとして出したのか。私はこれがもし負担増というのであれば、リース方式は採用しないと受けとられるかもしれませんが、いかがですか。

地球温暖化対策課長

LEDに関わるリースというのは新しいビジネスモデルでございます。正直申し上げて、こういったビジネスモデルが将来にわたり成立するかどうかということにつきましても、これはやはり県としても慎重に考えざるを得ないかなと思っております。ただ申し上げたいのは、ここではリース方式について、やはり一定の将来負担が生ずるから、だからこれはいけないんだというふうにお答えしたつもりはございません。知事といたしましても、そういったことも含めて総合的に検討させていただきたいというふうに回答させていただいたというふうに私どもは認識しております。

佐々木委員

余りにもここだけ特化して具体的な話が出ていたもので、単年度会計ですからリース方式のメリットも行政としてはあるのではないかと思うんだけど、このデメリットみたいなものだけ特化してここで答えたというところに私はすごく違和感があったんですけれども、その辺はどうですか。

地球温暖化対策課長

知事がそのような趣旨でデメリットを強調したというふうには私どもは受け取ってございません。委員御指摘のように、リース方式につきましては、単年度負担を解消して、後年度に負担の分割をするという意味では有力な選択肢の一つであろうというふうには考えてございます。

佐々木委員

リース方式を採用する可能性もあるわけですか。

地球温暖化対策課長

それも含めて私ども現にリース会社とも現在接触をさせていただいてございまして、どういった格好でLEDの導入を進めていくかを検討させていただきたいと存じます。

佐々木委員

導入する可能性あるかないか。

地球温暖化対策課長

現段階ではすべてのオプションを考えてございます。したがって、そういう意味では可能性もございます。

佐々木委員

ということは、入れた場合はやっぱり負担増になるということになりますよね。

地球温暖化対策課長

そのとおりでございます。

佐々木委員

それでは、LEDの導入は今おっしゃったように様々な観点から検討することなんですけど、まず費用の負担の在り方について、具体的にどういう検討をするのか教えていただけますか。

地球温暖化対策課長

LEDは発展途上の技術でございまして、価格低下が著しいというところもございまして。例えば一昨年ですと、直管型でございましてけれども、2万円だっ

たものが、昨年は1万6,000円、今年度は1万2,000円という状況でございます。これはメーカーそれからリース会社ともヒアリングをさせていただきまして、来年度以降の価格動向なども判断させていただこうかなと思ってございます。

佐々木委員

今後、技術革新の状況、それから節電効果、県民へのアピールという部分は具体的にどうしていこうとしているのか。

地球温暖化対策課長

まず技術的なところでございますけれども、平成22年度でございますが、大体大手メーカーが参入してまいりまして、それまで演色性ですとか、規格に問題はございましたけれども、ここにきて、例えば輝度、光度なども非常に向上してまいりました。したがって、これらにつきましても来年度ぐらいの開発動向、ここら辺もヒアリングをさせていただきたいと思ってございます。

それから県民へのアピール度についてでございますけれども、まずどこに入れたら県民に対して最もアピール度が高いのか。例えば小さな施設で、横浜から離れたところでたくさんの人々が入っているようなところに入れたらいいのか、あるいは県庁中心に入れた方がアピール度が高いのか、そういったことも検討してまいりたいと思ってございます。

佐々木委員

あんまり細かく聞きませんが、様々な検討が遅れば遅れるほど負担増になると思うんですね。このまま今の蛍光灯が付いているわけですから、LEDの導入ということを加味して言えば、ですから早く検討をするべきです。今の話だと技術革新については来年度のヒアリングを待つのかとか、当分入れられないという感じも受けるし、一部は最初に導入するかもしれないけれども、そういう入れる、入れないというのは様々な予算のこともあるでしょうから、一気にLED化の予算をとれるかどうかというのも検討しなければならないと思いますが、なるべく早く結論を出した方がいいと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

地球温暖化対策課長

正に委員おっしゃるとおりでございますが、性能の向上、それから価格の低下、一時パソコンもそうございましたが、性能の向上や価格の低下を待っていたらいつまでたってもパソコンが買えないというような時期もございました。そういったことも含めまして委員の御指摘も含めて、できるだけ早いうちに、今後、神奈川県としてどういう対応をとっていくのかということを検討させていただきたいと思ってございます。

佐々木委員

LED化は正に圧倒的なスピードでやっていかなければならないのではないかと考えていますので、検討をして、結果を早く出すことが大事なのではないかなと思うんですね。今、課長がおっしゃっていたように、長くなれば長くなるほど革新的なものが一杯出てくるわけですね。ずっと待っていたらいつまでも替えられないという状況になってくるわけですから、やっぱりどこかで結論を出す、決断をしなければならない。その決断自体も圧倒的なスピードでや

るべきなのではないかなというふうに思うんです。いつまでにやろうと思っていらっしゃるのか、その検討結果を出す意味でいつまでやろうと思っていらっしゃるのか、それを聞きたいと思います。

地球温暖化対策課長

やはり基本的に財源の問題もございます。現段階で大量に導入するということになりますと相当の財源もかかるということもございますので、今考えてございますのは、来年度に向けて段階的にどのように入れていくか、来年度以降、神奈川県庁にLEDを導入していくための計画をつくってまいりたいというふうに考えてございます。

佐々木委員

今の御発言だと、来年度以降に段階的に入れるというような御発言でよろしいんですか、確認の意味で。

地球温暖化対策課長

今の段階では、私どもそういうふうに考えてございます。

佐々木委員

ということは、この夏、あるいは冬の時期には間に合わないということでしょうか。

地球温暖化対策課長

今年度につきましても神奈川県として3,600本の直管型のLED照明を入れさせていただきました。来年度以降につきましてもでございますけれども、やはりこのエネルギーの需給ひっ迫というのは今年度だけではなく、当分の間続いていくものだというふうに考えてございます。これに的確に対応していくというのがやはり私どもの眼目でございますし、委員の御指摘のとおり、こういった状況に対応して、できるだけ早く入れるためにはどうしたらいいかということ、財源対策も含めて検討してまいりたいと思っております。

佐々木委員

要するに予算が組めない、あるいは大量にLEDの導入を組めないということだなと思いましたがけれどもね。でもやっぱり県庁として基本方針にうたっている以上は、私は即座にやるべきだなと思っておりますし、来年度からと今お話が出たから、少し知事の御答弁より進んだかなと思うので、それは感謝申し上げますけれども、私はもっと早くやるべきなのではないかなというように思いますので、今後また御検討を更に重ねていただきたいことをお願いして終わります。